

「防災塾・だるま」2024年4月26日（金）定例会議事録

司会：山田 記録：鷺山

現地参加者：荏本 鷺山 山田 高松 樋口 早川 田中喜 田中晃 松島 伊藤

土谷 中根 福田 小川 杉内 栗田 池田 鈴木 佐々木 磯野

藤崎 松原 大西 鶴谷 金山 望月 26人

Zoom参加者：加藤 田中栄 相原 原田 増田 河原 6人 合計32人

日時：2024年4月26日（金）

会場：かながわ県民サポートセンター11階 講義室1（Zoom併用）

時間：13:30～14:45

資料（印刷が必要な場合、各自でお願いします。：提案）

① 議事次第（本紙・鷺山）

② 第195回「防災まちづくり談義の会」レポート（田中晃）

<http://darumajin.sakura.ne.jp/30dangi/dangi2023/dangi195-report.pdf>

③ 「子どもと家庭の防災マニュアル」（鷺山）

<http://mirai-bousai.net/id-36.pdf>

④ 総会案資料(役員会・本紙巻末)

1. 塾長挨拶 次年度を見越した奇譚のない協議をお願いしたい。

2. 報告事項

(1) 会員状況会計報告 (早川)

3月 1名加入あり、現在98名となった。

(2) HP更新状況(樋口) 毎月の情報等高頻度で掲載している。

(3) 2月3日談議の会レポート(田中晃)

内容的にも深い問題で、充実した講演会であり、記録も貴重である。

(4) 4月2日 JDFチャリティーイベントへの対応について (樋口・鷺山)

「防災塾・だるま」から参加：池田 ロドリゲス 望月 田中晃 田中喜 樋口

相原 山田 添田 福田 鷺山

チケット販売数82

会計報告もいただいた。鷺山への交通費提供は、文化ボックスとしての賛助会員費にしていた。

(5) 3月23日「かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク」イベントへの対応

だるまからは、杉原 荏本 鷺山 山田 高松 添田 川上 相原 福田 加藤

参加

能登半島地震中心に多角的な報告あり。

(6) 5月18日 神奈川大学講座あり

「連続防災講演会」 13:00～16:30 7人発表 有料(1000円)

全会員メール配信 HP公開

### 3. 審議事項

#### (1) 本日第196回「防災まちづくり談義の会」実施計画

発表者の皆様に御礼。

初めてPeatixによる宣伝を試みた。波及はまだ見られなかった。

#### (2) 第197回「防災まちづくり談義の会」(通常総会基調講演会)

「防災塾・だるま」2024年通常総会 基調講演会実施計画

- 1 日時 2024年5月24日(金)15:00～16:30
- 2 会場 横浜駅徒歩5分 神奈川県民サポートセンター 11階 講義室1  
通常総会(13:30～14:45) 90分(挨拶・質疑応答含む)

基調講演会(15:00～16:30) 講師高橋先生現地到着 14:30にご来場

#### 3 講師 理学博士 高橋雅紀 先生

(プロフィール)

東北大学にて博士号取得後、1992年に通商産業省(現経済産業省)工業技術院地質調査所(現産総研)に入所。専門は地質学、テクトニクス、層序学。関東地方の地質を調べ日本列島の成り立ちを研究。

#### 4 テーマ『山国誕生の謎-東西圧縮の原因-』



#### 5ご講演要旨

日本列島が誕生したのはおよそ1500万年前。日本海の拡大によって、大陸から島国になりました。その後の長い間、日本列島の大部分は海の底。ところが、およそ300万年前になると、東西圧縮と呼ばれる地殻変動が始まりました。海底は盛り上がり、さらに一気に隆起して世界有数の山国に成長したのです。この地殻変動の原因は何でしょうか。私たちが住む日本列島誕生の謎を、厚紙模型を組み立てながらひもといってみましょう。

(参考:防災・防災教育的提言につながる視点から)

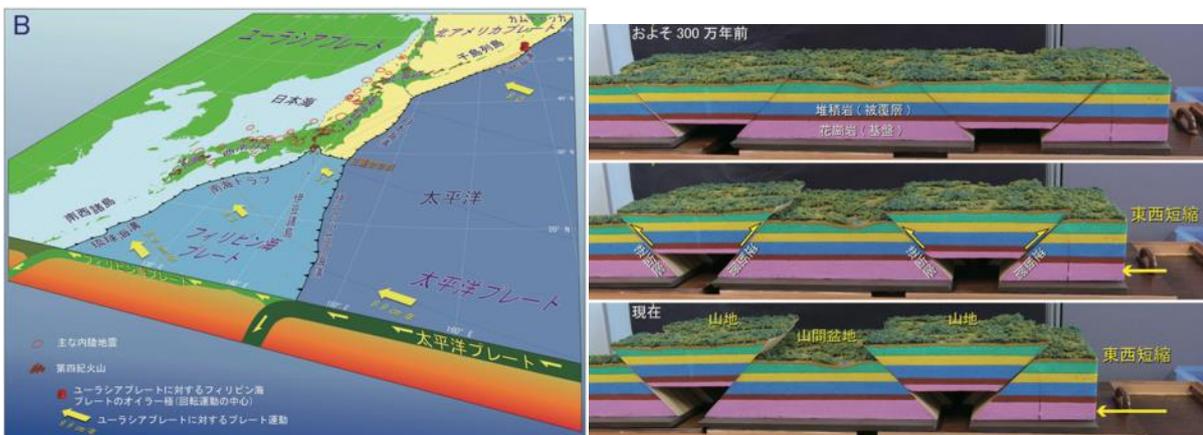
大地が広がり山国に成長する過程で断層が動きます。断層運動によって日本列島は何度も地震災害を被ってきました。私たちが住む日本列島の大地をつくったのも、ときどき地震災害を引き起こす断層運動も、どちらも東西圧縮が原因です。自然現象には人間にとってプラスだけでなくマイナスの面があることを理解し、日頃の防災に役立てましょう。

## 6 講演会趣旨

関東大震災100年への取組として、ぼうさいこくたいなどでもその地学的理解の推進を神奈川地学会とも連携して進めてきましたが、この地震が神奈川直下のプレート境界型地震であったことの啓発は今後も課題です。高橋雅紀博士は、日本列島の形成過程を地層・ボーリング調査や斬新な幾何学的研究によって解き明かされてきました。プラタモリなどにも多数回出演され、誰にもわかりやすい教育普及されています。博士考案の紙模型を作って「日本列島誕生」を体感させていただくことができます。能登半島地震の海岸隆起で見られたように、プレートの運動が大地を生み出すとともに、備えができなければマイナスとなるという博士の知見に学び、新時代の防災教育への考察を深めたいと思います。(塾長)

7 進行 司会 山田 講師紹介 鷲山 お礼の言葉 荏本名誉塾長

## 9 使用許諾をいただいた写真



(3) 第198回「防災まちづくり談義の会」(総会確認後予定)

日時：7月19日(金)

会場：

講師：神奈川県建築士会他

演題：能登半島地震を踏まえた耐震化推進について（仮題）

（４）名簿再構築 環境が整ったら実施 係分担体制 （早川 土'谷 田中喜）

名簿再構築システムができれば、テストを繰り返してバグを修正。

名簿担当として土'谷氏に加わってもらう。

入会や会員名簿確認の自動返信は、副塾長、田中喜、土'谷で共有する。

（４）総会時に配布の名簿について（早川）

（５）「子どもと家庭の防災マニュアル」の扱いについて

鷺山が子ども向けリモート授業のために子どもとのやり取りの中でできたが、

「防災塾・だるま」の知的資産を凝集している。防災諸法に準拠。

わかりやすい片山氏イラストを活用。「防災めぐり」PPT版と併用、補完できる。

今後「防災塾・だるま」の共有教材として公開する。

4月2日SDFチャリティーイベントでも「防災塾・だるま」の「子どもと家庭の防災マニュアル」として紹介した。

（６）片山氏の優れたイラストのHP公開について。

完全著作権フリーとして提供している。技術的に可能となったので、公開を進めたい。（試行サイト）<http://mirai-bousai.net/id-7/>

(7) SNSの活用について

まずはPeatixの活用を試みる。無料、有料でのチケット販売も可能。

- ・無料チケットの場合には無料で活用できる 196回談義はこれを実施
- ・有料チケット一枚販売につきPeatixへの手数料99円。197回から、会員以外

の拡大を図る。

<https://services.peatix.com/ja>

第196回「防災まちづくり談義の会」Peatixチケットサイト

<https://bousaijukudaruma196-notohantou-report.peatix.com/view>

(8) 「賛助会員」の募集について 今後、特典等の規則が必要。

HPやチラシへの広告掲載等

(9) ギャザリングへの対応 開催10月12日(土) 市民防災センター

- ・「子どもと家庭の防災マニュアル」+「防災めぐり」

も活用したクイズブースを実施する。

- ・グッズ カップ等

- ・原田氏 中根氏は別途出展

- ・ギャザリング講演会 6月22日(土) 13:00～ 県民サポートセンター

講師 佐藤孝治先生

「21世紀の複合災害を考える」

## (10) 通常総会議案書

### (11) 今後の「記録」体制について

防災塾・だるまの資産である記録のクォリティを維持する必要。

田中晃氏の後任、及び複数で記録を担当する体制づくりが課題。

(過去には複数体制の時代もあった。)

講師からの記録をフォームで収集する体制を試みているので、講演要旨のアーカイブ化 (Os-7HP のような) は可能かもしれない。

講師に「防災の視点」も記入していただいたのはよい。

今後ぼうさいこくたいアーカイブのようなデータ化も考えられる。

### (12) 印刷資料の今後について

(提案)

- ・定例会及び「防災まちづくり談義の会」等の紙印刷資料は事前、事後にメール、HP により PDF 資料を配信している。
- ・時代の変化に対応して、今後これらに重複して紙ベースの印刷資料は最小限とする。

(協議結果)

(11) 今後の予定

5月	24 (金)	県サポ 講義室1	通常総会 基調講演会(談義197)		
6月	21(金)	県サポ 講義室1	役員会 役員会取組計画等		
7月	19日 (金)	未定	定例会 「198防災まちづくり談義の会」 能登半島地震を踏まえた耐震化 推進(仮題)		

(12) 名誉塾長挨拶